

平成 28 年度 学校関係者評価

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的な生活態度の確立	毎日の登校指導の実施 「校則や社会のルールを守っている」と答える生徒 90%以上 欠席を 1 日あたり 1 人未満に抑える。	A	A	欠席についての理由は担任が把握しているため、病気等の理由があつての欠席であり、無断欠席ではないことがわかった。
	読書環境の充実	図書館便りの定期的な発行と貸出数の昨年度比増加を図る。 「朝読書の時間は有意義である」と答える生徒 90%以上 「図書館や P T A コーナーにある本を読んだことがある」と答える生徒 70%以上	C	B	蔵書の基準はないが、専門書は図書館にあり、調べ学習等に活用していることがわかった。 朝読書は生徒が読書をするきっかけになる。学期に 3 回であっても、短時間であっても、生徒が読書をする機会に恵まれることが重要だ。 近年、読書離れ、本離れが顕著になっている中で、アンケートによると、想像以上に読書をしている。 P T A コーナーにある本は利用しやすいと思う。ぜひ活用してほしい。
イ	学習指導の充実	校内公開授業週間における教員相互の授業参観率 90%以上と自主的な研究授業実施者 5 人以上 「興味を持てる授業がある」と答える生徒 90%以上	A	A	より良い授業を行うためには、色々な教員の授業のやり方を見て、研究することが大事だ。 年齢の幅や専門分野を超えて、教え方や生徒とのコミュニケーションの取り方を学ぶ機会になる。特に若手教員は積極的に学んでほしい。
		学科選択を含めた 1 年次の教育課程等の検証及び 2 年次以降の教育課程の確認	A	A	一年生が科を選択するにあたって、学年通信や面談を通して時間をかけて考えさせ、その結果、第一希望の科に入った生徒が多くいたことがわかった。
ウ	能力・適性・希望に応じたきめ細やかな進路指導の推進	「進路について親と話をすると答える生徒 75%以上 「進路の手引を利用すると答える生徒 50%以上	A	A	進路の手引きの内容は、面接における注意事項の他、面接指導の書き込み等もあるが、社会人になってからのマナーやコミュニケーションの取り方等の記載があると良い。 次年度は、一年生からも利用できるように、生徒手帳と組み合わせたものを利用する計画があることがわかった。 全生徒が、人生の先輩である親と進路について話をしてほしい。
エ	安全指導の推進と危機管理能力の向上	「登下校時、交通法規を遵守している」と答える生徒 95%以上	A	A	イエローカードをもらう本校生徒の数は富士市の中でも少なく、事故件数も昨年度より減少している。

	工場及び実習室の整理整頓を行うとともに、事故0を目指す。	A	A	工業高校では、実習や実験などで機械や薬品を使用する機会が多くあり、その中で大きな事故がないのは、安全指導が行き渡っている証拠だ。少人数で実施していることも良く機能している。
	総合・地域防災訓練への参加率90%以上 「地震等大規模災害発生時の連絡方法や行動について親と話し合っていて決めている」と答える生徒70%以上	B	B	防災訓練の実施日が各地区で違ってきている。 地域防災訓練では、高校生に役割を持たせて実施すべきであると考えているが、地域によって訓練内容が異なり、温度差もあるので難しい。 災害時、実践力となるよう、高校生が地域に顔を見せることが大事だ。 防災訓練を含め地域との交流は、社会人となっても必要なもので、ぜひ進んで参加してほしい。
	「役立ち感育成プロジェクト」の推進	B	A	世代の違う人たちが集うボランティア活動に、参加できることがすばらしい。 高校生が違う世代の人たちと出会うことで、学ぶことも多いはずだ。 本校の生徒ならではの優しさや温かさがあり、これからも様々なボランティア活動を続けてもらいたい。 ボランティア活動の参加生徒は偏る傾向があるので、延べ人数でなく、参加人数が増える工夫をしてほしい。
	健康指導の推進	A	A	朝食摂取率が96%もあることがすばらしい。 部活動や体育など体力を使うことが多いので高校生は朝食を取らないと活動できない。 本校では夏季休暇に、富士市の食育推進委員とともに朝食作り等を実施していたことも知った。
オ	教育相談システムの充実	B	B	教育相談のシステムができていますので、学校支援心理アドバイザー事業が、次年度も引き続き実施されることを望んでいる。 一年生が入学時に提出する「生い立ちの記」は、個人情報であるので取り扱いに注意したい。
カ	ホームルーム活動及び生徒会活動の自主的な運営	A	A	吉峰祭では、生徒たちが課題研究の説明を積極的に行ってくれた。

	部活動の活性化	「部活動に無断で休まず取り組んでいる」と答える生徒80%以上 県大会出場の部が10以上	A	A	部活動の活動実績の活発、不活発の二極化を問題にしているが、運動を得意としない生徒たちの逃げ場としての部活動も必要だ。
キ	地域から期待・信頼される、工業高校であることを広報する活動の充実	校内の情報収集の改善と週1回の更新に努める。	A	A	ホームページにおける、毎日の更新は特記に値する。 生徒の体験談等があれば、なお興味を引く。
		技能競技大会等へ積極的に参加し、上位入賞を目指す。出前授業、ものづくり講座、イベント等の充実を図る。 「資格取得に向け、積極的に取り組んでいる」と答える生徒70%以上	B	A	高校生でこれだけの多くの資格が取得できることはとても良いことだ。 資格は就職後、働く上での武器になるので、これからも多くの生徒が資格取得を目指してほしい。 すばらしい結果だ。今後も目標を高く持って取り組んでほしい。
ク	教育環境の整備の推進と効率的な学校経営予算の執行	「学校生活を安心安全に過ごすことができる」と答える保護者・生徒が90%以上 「事務室は、親切な対応をしてくれる」と答える保護者・生徒90%以上 定期的な予算執行状況の把握と周知	A	A	施設に起因する怪我がゼロであることはすばらしい。安心安全に過ごすことができる。